



数々の金字塔 選手たちに「感謝」

大村工業高校男子ソフトボール部の監督を務める山口義男さん。先般、静岡県で開催された「全国高校選抜大会」で、史上初の大会4連覇を成し遂げました。これまで、数々の金字塔を打ちたててきた山口監督。優勝は実に、全国10回、九州大会17回、県大会38回を誇る名将です。

監督に就任したのは平成14年。初優勝は平成16年の県大会で、「第一印象深いといいます。最初は結果が出ず、長い道のりでした。」と話す山口監督。「毎年、歴代のキャプテンが自らチーム作りに励み、それが伝統となっている。選手のがんばりに感謝しています。」と、感慨深げに語ります。

6月には県高総体を控え、さらに2年連続の全国春夏連覇の期待もかかっています。山口監督の指導にも熱が入ります。「長崎県はソフトボールが盛んな地域。王者とはいえ、県大会を突破するのが至難の業。一戦一戦集中して戦わなければ。」と、気を引き締めます。

山口監督は、「環境の良さが強さの秘訣」と感じています。「大村工は部活動が盛ん。同じ境遇の生徒がたくさんいます。また、メンタルやメディカルに特化した地元のトレーナーの協力も、選手の成長に大きな影響を与えています。保護者会のサポートも心強く、あらゆる面で環境が整っています。感謝の気持ちを忘れず、大村の代表として戦っていきます。」と山口監督。快進撃はまだまだ続きます。



Profile

やまぐち・よしお
昭和50年1月4日生まれ
大村工業高校教諭。
大村工業高校男子ソフトボール部を率いて14年。全国優勝の回数は10回を数える。自身もソフトボール選手で、投手として国体にも出場。現在はソフトボール競技のU-19(19歳以下)日本代表監督も務めている。諫早市在住。40歳。

大村工業高校男子ソフトボール部監督

山口 義男さん



クローズアップ

大村人

vol.7

このコーナーは、ふるさとを思いながら、市内外で活躍する大村人、を紹介していきます。